

令和6年度 児童相談所関連研修

子ども家庭福祉行政組織運営研修

日程

令和6年11月18日(月)・25日(月)

対象

- 児童相談所、こども家庭センターに勤務する管理監督職及び係長級職員
 - 子ども家庭福祉、保健所・保健センター等に勤務する管理監督職及び係長級職員
- ※上記に関わらず、要保護児童対策地域協議会に関わる職員及び本テーマに関心のある職員

場所

特別区職員研修所(千代田区九段北1-1-4)



日程	時間	教科目・講師名(敬称略)	内容
18 日 (月)	13:30 ~ 17:00	(講義・演習) 「子ども家庭福祉行政における 支援者支援」 【講師】 日本社会事業大学 名誉教授 藤岡孝志	困難を抱えた家庭の支援を担う職員は、被害の話に耳を傾けることで、自分が被害にあったような代理受傷を負ったり、共感疲労やバーンアウトに陥るリスクを抱えています。児童相談所やこども家庭センターの管理監督職や係長級職員は、職員の心身の健康を守り、より質の高い支援を提供できるよう目指すことが大切です。 このため支援者を支援する立場として、「共感疲労」の原因を分析し、子どもや親にとっての「支援者の存在」について理解するとともに、「共感満足」を高めるような働きかけを行うための具体的な支援方法を学びます。
25 日 (月)	9:00 ~ 17:00	(講義・演習) 「死亡・重大事故事件から学ぶ 危機管理・組織マネジメント」 【講師】 日本大学大学院 危機管理学研究科 同大学 危機管理学部 教授 鈴木秀洋	こども虐待死亡事例等の検証は、児童虐待の発生予防と再発防止に不可欠です。しかし検証を行う際の情報収集には様々な課題があります。円滑な情報収集を行うためには関係機関の連携や情報共有の仕組みづくりが重要です。管理監督職及び係長級職員の立場でそれぞれの組織や連携体制を再確認していきます。 また、児童相談所やこども家庭センターにおける高リスクケースの管理についても、日常業務での実際の対応を振り返りながら、危機管理と組織マネジメントの観点から検討していきます。